

美作大学の沖縄出身生らが「命どう宝」をテーマに開いた催し。地域住民ら約250人が同大学に集まった。23日午後1時すぎ、岡山県津山市



## 岡山・美作大で「命どう宝」

### 県出身学生 慰霊の日でイベント

慰霊の日の23日、岡山県の美作大学に通う沖縄出身学生らが「命どう宝」をテーマに同大学で催しを開いた。学生約60人が創作ダンスや演



劇、エイサーを披露した。演劇ではひめ

ゆる学徒が逃げたことを選べずに自ら命を絶つてしまう場面や、壕で泣く赤ん坊を日本兵に殺されそうになり、母親が慌てて口をふさぎ、過って死なせてしまう場面などが展開された。会場には学生や地域に住む人々もいた。

実行委の上江洲美奈さん(20)「うるま市出身」は「過ぎ去ろうとする戦争の記憶を、今度は私たちが語り継がないといけないと思い、一生懸命に頑張った。慰霊の日を伝えたいという目的は果たせたと思う」と満足そうに話した。